宇土高校新闻

UKO News

https://sh.higo.ed.jp/utosh/



令和元年7月15日発行

令和最初の宇土中・高校 体育祭開催!

令和最初の体育祭は、GW明けの 5月11日(土)に開催されました。今 年はどの団にも優勝して欲しいと思え るくらい、各団の努力と絆が見える、 熱い大会でした。





高校総体/総文祭

舞台は全国へ

6月の県予選、7月の九州大会を勝ち上がって、11人 が全国大会に駒を進めました。総体は8月上旬に南九州 で、総文は7月末に東京で開催されます。全員の活躍を 期待しています。

【陸上競技部】

(400mハードル) 3年深澤健斗くん

【ヨット部】

たまきゆうしん

(420級)ペア3年玉城雄晨くん・原口太希くん ほんだともや てらもとあおい

(FJ級)ペア2年本田智也くん・寺本 葵 くん

ふじもとわたる

(レーザーラジアル級) 3年藤本 航 くん



【放送部】(全国総文)3年切通 望 くん(朗読部門)

3年切通望(ん(アナウンス部門) (NHK杯)

3年緒方侑里さん(朗読部門)

【科学部】(全国総文) 「屈折率の研究」

3年北岡実乃理さん・米田琉世くん・佐藤凜くん

台湾・静官大学と 高大連携協定締結



宇土高校からの留学生 に対し、留学授業料免除 等、独自の特待制度を設 けていた台湾静宜大学 と、今年度、高大連携協 定を新たに結びました。 英語・中国語の研修や、

台湾の最先端IT分野の研修等、より円滑な交流が期待されま す。5月には、宇土高校から3年生3名が交流プログラムに参加 しました。

道は拓ける - 熊本初の ミネルバ大学 合格 -

小さい頃の夢は保育士だったという成松紀佳さん。宇土中高



で学んだ6年間で、外国人との交流や ボランティア活動に積極的に参加し、 「アメリカで科学研究と企業の融合に ついて学びたい」と夢を抱きました。 その夢を叶え、この9月から、次の未 来世界を創造するミネルバ大学 (Minerva)に進学します。

G L P (グローバルリーダー養成プログラム)

※GLPとは宇土高校同窓会が支援する海外研修プログラムです。

3月25日~4月3日 アメリカ

スミソニアン博物館→デラウエァ ア大→ハーバード大→MIT訪問

春休み、10日間のアメリカの研 修旅行が実施されました。各大 学で、パネルディスカッション・サ イエンスワークショップ等を実



施。参加した生徒たちは、文化の違いを肌で感じ「自分の目標 を達成できると信じて、これからも部活動や勉強などいろいろ なことに挑戦していきたい」意気込んでいます。

○ 現地の授業に参加した際、先生が「誰かプレゼンテーションをしたい人い る?」とおっしゃった時、クラスのほぼ全員の生徒が手を挙げました。日本では 躊躇する方が多いので、この件に関してとても驚きました。一日一日が新鮮 で、アメリカの多様性に圧倒され続けた10日間でした。海外の授業を受けるこ とで、様々な分野において客観的に日本を見るきっかけになりました。 (3年岡本季子さん)



○ 一番わくわくしたのは、ハーバー ド大学生との交流でした。みんなが 次々と質問していく中で私は、あなた の長所は何かと尋ねました。自分の 長所を堂々と話す姿を見て、私もこの くらい強い意志を持った人になりたい と思いました。(3年三浦春奈さん)

いま全国から注目される"宇土高校のSSH"

時代は、経験則に基づく「暗黙知」の世界から、AIを活用したより多様な人々が活躍する社会へと変貌を 遂げつつあります。そのためには、論理的思考力・論理的コミュニケーション能力の獲得が大変重要です。 宇土高校では、日常の様々な出来事に興味を抱き、不思議を感じることから探究をスタートさせます。理 系・文系を問わず全員が「LOGIC」を合い言葉に、観察事実を基に筋道立てた考察を学びます。3年間をかけ て課題研究に取り組み、論理的思考力を身につけ、新しい時代を見据えた探究型の学びを実践しています。





